

学校施設の防犯対策 点検・改善マニュアル



- 学校施設の防犯対策に係る点検・改善マニュアル
作成の取組に関する調査報告書の概要

文部科学省大臣官房文教施設企画部
国立教育政策研究所文教施設研究センター



背景・目的



- 近年の学校を発生場所とする**犯罪の増加**
- 児童生徒等の**安全確保**及び学校の**安全管理**の一層の徹底
- ハード、ソフト両面から、より**実効性**のある**安全管理の取組**を積極的かつ**継続的**に推進

- 文部科学省では、平成14年から安全で安心できる学校の確立を目指し、「子ども安心プロジェクト」を推進しており、不審者侵入時等の留意事項をまとめた「学校への不審者侵入時の危機管理マニュアル」（平成14年12月）等を作成し、周知しています。
- 学校施設における防犯対策の推進方策としては、「学校施設の防犯対策について」（平成14年11月）において、防犯対策のチェックリストやマニュアルに基づいた定期的な点検や訓練の実施など、実効性のある検証システムの確立が求められています。
- 本調査研究では、これまでの調査研究などを踏まえ、学校施設における防犯対策を一層促進するために、防犯対策に関する点検・改善の現状や課題を整理・分析し、学校施設の防犯対策に関する点検・改善マニュアル作成に当たっての視点や留意事項を示しました。

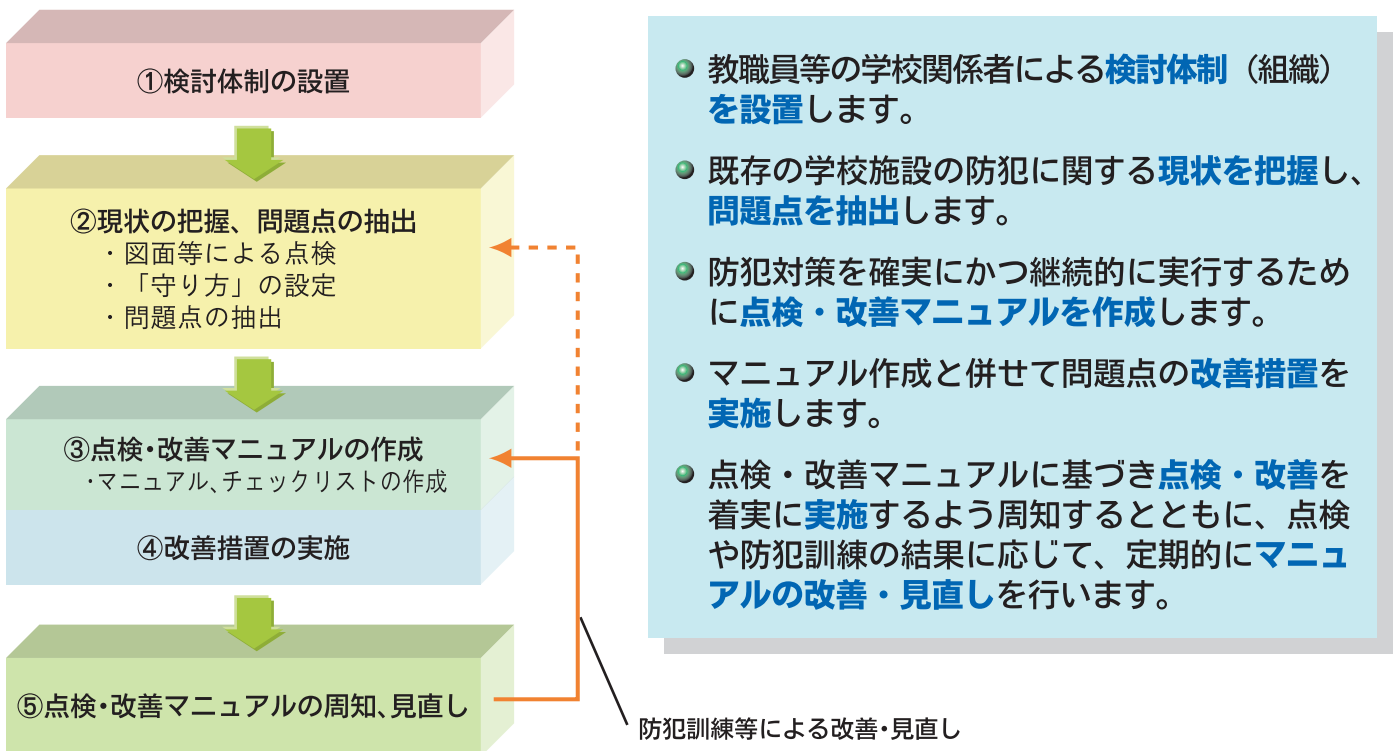
調査の内容



- 文部科学省支援事業として、市町村教育委員会等と学校が連携して作成した**点検・改善マニュアル**（3事例）を分析
- 全国の教育委員会、学校において、既に作成している防犯対策マニュアルを収集・分析
- これら取組事例について整理・分析を行い、学校施設の防犯対策に係る**点検・改善マニュアル作成の手順と留意事項**をとりまとめ

- 平成17年10月 文部科学省より「学校施設の防犯対策に関する点検・改善マニュアル作成支援事業」及び「学校施設の防犯対策に関する点検・改善マニュアルの事例調査」を各都道府県教育委員会等に依頼
- 平成17年11月 国立教育政策研究所に、建築計画・防犯の専門家、校長、教育委員会関係者による「学校施設の防犯対策に係る点検・改善マニュアル作成の取組に関する調査研究会（主査：長澤悟 東洋大学工学部教授）」を設置
- 平成18年6月 調査研究報告書を取りまとめ
（報告書全文を文部科学省ホームページに掲載：アドレスは最終ページ参照）
- 平成18年7月 文部科学省から国公立の学校施設担当課へ報告書を送付

フローチャート



① 検討体制の設置



● 関係者による検討体制づくり

- 防犯対策の点検・改善には、学校設置者、教職員、保護者、地域住民、関係機関等の連携協力に加え、個々の学校の状況や地域の特性に応じたメンバーによる委員会、ワーキンググループ、ワークショップ等の検討体制の構築が重要です。

● 建築計画や防犯に関する専門家の参画

- 建築計画や防犯に関する専門家の参画は、バランスの取れた防犯対策を実施する上で有効です。

② 現状の把握、問題点の抽出



● 図面等を活用した現状の把握

- 図面等を活用して、防犯に関する学校敷地内や周辺環境の現状について把握することが大切です。
- 既存施設・設備の現状把握には、学校配置図や周辺地図に気づいた点をチェックする「学校施設安全マップ」づくりが有効です。
- 「学校施設安全マップ」づくりは、学校関係者、保護者等が参画することが、多面的な点検や情報の共有化に有効です。

● 個々の学校の守り方に基づく問題点の抽出

- 学校の運営方針や周辺環境を考慮しつつ、防犯に関する基本方針を定め、防犯対策に必要な領域性の確保、視認性の確保、緊急時の対応等の守り方を設定し、現状に対する問題点を抽出します。